

平成 29 年度「森の名手・名人」に認定されました！

～森づくり部門 苗木生産者 齋藤豊彦氏～

公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「森の名手・名人」は、森や山に関わる生業や、日本の風土・地域生活に染みこまれた営為のうち、特に優れた技をもってその業を究め、他の技術・技能者、生活者らの模範となっている達人を「森の名手・名人」として認定し、彼らの顕彰を通して社会全体に「森を再生していく様々な技術の大切さ」や「山と関わり続けていくことの豊かさ」を広め、その技を育んできた地域の自然や気風を守り育てていくことを目的としています。

その平成 29 年度「森の名手・名人」に、本県より苗木生産者の齋藤豊彦氏(東松島市在住)が認定されました。氏は、家業の山林種苗木生産業を受け継いで優れた苗木を生産しながら、全国に先駆けてコンテナ苗の生産方法を確立し、高い養苗技術を有し、近年は海岸防災林再生のためのクロマツ苗の生産に尽力され、地域の模範的苗木経営を持続させながら、被災地の復興に貢献されています。

この認定を受け、去る 2 月 28 日に開催されました公益社団法人宮城県緑化推進委員会定時総会の席上で、その功績を称え県産ケヤキ材で製作された「称号板」が授与されました。氏は勿論、出席者から感銘の声が寄せられ、一際大きな拍手喝采が会場に沸き起こりました。



公益社団法人宮城県緑化推進委員会理事長より称号板を授与された齋藤豊彦氏